

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 瑞邦会	特別養護老人ホーム久遠苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	①Neos+Care ②Wi-Fi 設備工事	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月16日	①10台 ②一式	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 入居者様 100 名のうち特に見守りが必要となる 10 名の方のベッド付近に機器を設置し、24 時間ご利用者のベッド付近の様子を機械と職員とで見守りをしています。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 まだ設置が完了して日が浅いですが、特に見守りを要する方の状況について、個人が特定されないシルエット画像をスマートフォンで確認でき、介護職員が必要とすべき訪室を判断できるようになったため、 <u>身体的・精神的負担の軽減</u> と、より繊細な見守りと対応が必要な方への対応ができるようになるなど、 <u>業務効率の向上</u> につながっています。  また、コロナウイルス等感染症対策として、介護職員と入居者様との必要以上の接触も避けることができ、感染拡大防止にも役立っています。  特に介護職員は夜勤時の負担軽減の満足度がとても高いです。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 設置をする場所ごとに設定を変更する必要があるため、できればどこに設置しても、自動認識して設定変更する手間が無くなるとさらに良いと思います。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人つばさ	共生ホームたけんこ グループホーム	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う通信環境整備	① ネオスケア ② スイッチ Hub・無線アクセスポイント・ケーブル等設置工事	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 3月 4日	4台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 夜勤者1名の時間帯（19：00～翌7：00）を主に4台（4居室）毎日使用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  これまで転倒リスクの高い利用者の居室は2時間おきの定期巡視に加え、その間に巡視をする対応や、居室での物音や簡易的なセンサの反応があった場合も、都度訪室を行っていた。また、訪室の際はドアの開閉音で入居者の安眠を妨げることへの気使いなどの精神的な負担があった。今回、導入のセンサはモバイル端末よりシルエットで入居者の状態も把握する事ができる為、訪室の回数も軽減され職員の心身の負担軽減にも繋げることが出来ている。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  センサやモバイル端末などの機器が高価である為、使用中に落下などによって破損させ無い様、取り扱いに気を付けなければならない事。 その他、機能的な部分については様々な設定ができ、とても便利で今のところ問題無く使用している。		